



本校は昨年度より、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、より一層、地域との連携に取り組んでいきます。

本校では、今年度第1回学校運営協議会（古川浩樹校長を含め8名の委員と教職員8名）を5月15日（水）に実施しました。

古川校長から学校運営の基本方針と、弘高型コミュニティ・スクール推進についての説明があったのち、各委員から学校運営についての御意見をいただきました。本校のスクール・ミッションにある「グローバル社会を牽引する人財の育成」を中心に置き、熟議テーマに関する個別の課題について協議しました。

### 《個別の課題》

#### 昨年度からの継続事項

- ①「弘高ねふた」の持続的な体制づくり
- ②「探究」指導体制の確立
- ③部活動改革の方向性と在り方

#### 今年度からの新規事項

- ④PTAの在り方
- ⑤国際交流・異文化体験プログラムの開発
- ⑥学校DX化の推進



### ～委員からの御意見、御質問～

当事者意識を土台にしたキャリア教育の推進については、生徒自身が自分の将来像を見据えてキャリアを上げるという意味とても良い目標である。

探究と普通の教科学習とを相互環流させることが、弘前高校の学びの姿としてとしてもあってもよいと思う。

DX加速化推進事業に弘前高校が採択された。今後委員の方々から、ご提案をお願いしたい。

高校生海外フィールドワーク事業に、弘前高校のチームが採択されることを強く願っている。

探究を軸にすることで、色々な教科や分野、国際交流等、生徒によって広がりを持たせることが期待できるのでないか。

次回の学校運営協議会は、7月中旬に実施の予定で、生徒のねふた制作の様子を見学したのちに、協議をしていきます。